

2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月12日

上場会社名 株式会社ANAP 上場取引所 東
 コード番号 3189 URL https://www.anap.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)家高 利康
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画部長 (氏名)豊田 陽介 (TEL) 03-5772-2717
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	2,632	△10.8	△279	—	△272	—	△339	—
2020年8月期第2四半期	2,950	△1.5	△187	—	△192	—	△306	—

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 △339百万円 (—%) 2020年8月期第2四半期 △306百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	△75.50	—
2020年8月期第2四半期	△70.62	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	2,568	1,025	39.9
2020年8月期	2,728	1,362	50.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 1,025百万円 2020年8月期 1,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2021年4月12日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,792	2.3	△346	—	△339	—	△410	—	△91.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年4月12日)公表いたしました「第2四半期連結(累計)業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年8月期2Q	4,854,800株	2020年8月期	4,815,800株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	333,507株	2020年8月期	333,507株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年8月期2Q	4,494,144株	2020年8月期2Q	4,334,801株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の抑制により、非常に厳しい状況となりました。感染拡大防止策と経済活動の両立が図られ、個人消費に一部持ち直しの動きがみられたものの、2020年秋以降、国内の感染者数が再度増加傾向になり、2021年1月には再度緊急事態宣言が発出されることとなりました。2021年3月に2度目の緊急事態宣言が全国的に解除されたものの、当該期間における経済の打撃は非常に大きく、足元でも感染収束については先行き不透明な状況が継続しており、消費の回復には至っていない状況が継続しております。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛やインバウンド需要の消失、さらにテレワークの普及や生活環境の変化によるファッション衣料品需要への影響から、前連結会計年度より引き続き、非常に厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の下、当社は引き続き、インターネット販売事業や本社機能においてはテレワークで業務を遂行するなどの対応をとってまいりました。インターネット販売事業においては、前連結会計年度から注力してきた流入強化施策の効果もあり、新規来訪客数は着実に増加しております。一方でコロナ禍において起こっているファッションECサイトのサービス競争激化及び在庫処分を目的とした値引き競争過熱の影響もあり、既存客数は減少しており、当該事象への対応が急務となっております。当社スタッフによるSNSやオンライン接客を通じての発信により、当社ブランド、当社ECサイトの魅力をより一層伝えながら事業運営を進めております。店舗販売事業においては、当第2四半期連結累計期間において5店舗を新規出店致しました。新規出店戦略については、採算管理を徹底しながらも積極的に進めていく方針で、順調な進捗状況となっております。

期初からの販売動向につきましては、9月から11月初旬までは比較的堅調に推移しておりましたが、前述の新型コロナウイルス感染者数再拡大の影響により、徐々に低調となり、特に11月の中旬から下旬にかけては実店舗では来客数が急速に落ち込み、再度の緊急事態宣言以降は一層厳しい状況となりました。また、気温が平年より高く推移したことの影響も重なり、当第2四半期連結累計期間の販売も厳しい結果となりました。

このような状況もあり、業務効率化等でのコストダウンを並行して進めており、この危機を乗り越えるため、全社員一丸となって業績回復に取り組んでおります。連結子会社ANAPラボ（旧ATLAB）については、従来のファッション事業とは異なる新規事業等も含めて引き続き事業拡大を目指しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,632百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。売上高が減少したことによる粗利益の減少の影響を受け、営業損失279百万円（前年同四半期は営業損失187百万円）、経常損失272百万円（前年同四半期は経常損失192百万円）となりました。また、インターネット販売事業のソフトウェアにおける減損損失を計上したことに加えて、税効果会計における繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失339百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失306百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(インターネット販売事業)

インターネット販売事業につきましては、前述したとおりファッションECサイトのサービス競争激化の影響もあり売上高が減少しております。そのような状況の中、業務効率化や人員の適正配置など事業効率を上げる取り組みを進めております。

以上により、売上高は1,331百万円（前年同四半期比16.9%減）、セグメント損失は77百万円（前年同四半期はセグメント損失18百万円）となりました。

(店舗販売事業)

店舗販売事業につきましては、前連結会計年度末より出店5店舗を行った結果、当第2四半期連結会計期間末における店舗数は33店舗になりました。売上高は既存店舗、新規出店店舗ともに好調に推移しておりましたが、前述の新型コロナウイルス感染者数再拡大による再度の緊急事態宣言の影響により、売上高が減少しております。

以上により、売上高は1,203百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント損失は52百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

(卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、既存の取引先に対する販売増加に伴い、売上高が増加しております。

以上により、売上高は78百万円（前年同四半期比25.0%増）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は1,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が66百万円、受取手形及び売掛金が99百万円、商品及び製品が64百万円、その他が30百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は813百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が68百万円、敷金及び保証金が38百万円それぞれ増加した一方で、投資その他の資産のその他が5百万円、貸倒引当金が4百万円それぞれ減少したことによるものです。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は0百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ145百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が150百万円、その他が15百万円それぞれ増加した一方で、買掛金が9百万円、未払法人税等が14百万円それぞれ減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は358百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは、退職給付に係る負債が2百万円、資産除去債務が18百万円、その他が11百万円それぞれ増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,025百万円となり、前連結会計年度末に比べ337百万円減少いたしました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金が14百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失計上に伴い利益剰余金が339百万円、配当金の支払により利益剰余金が13百万円それぞれ減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、791百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果支出した資金は66百万円（前年同四半期は67百万円の支出）となりました。これは主に、減価償却費26百万円、売上債権の減少額99百万円、たな卸資産の減少額63百万円、助成金の受取額53百万円による増加、税金等調整前四半期純損失277百万円、前払費用の増加額10百万円、仕入債務の減少額9百万円、その他の減少額14百万円による減少の結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は144百万円（前年同四半期は85百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出30百万円、有形固定資産の取得による支出59百万円、無形固定資産の取得による支出11百万円、敷金及び保証金の差入による支出41百万円による減少の結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は144百万円（前年同四半期は31百万円の収入）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額150百万円、新株予約権の行使による株式発行による収入14百万円による増加、ファイナンス・リース債務の返済による支出5百万円、配当金の支払額13百万円による減少の結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、2020年10月12日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2021年4月12日)公表の「第2四半期連結(累計)業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	858,718	791,946
受取手形及び売掛金	337,290	237,534
商品及び製品	710,428	645,898
仕掛品	529	17
原材料及び貯蔵品	4,795	6,212
その他	103,645	73,595
貸倒引当金	△3,008	△430
流動資産合計	2,012,399	1,754,775
固定資産		
有形固定資産	232,815	301,305
無形固定資産	36,593	37,615
投資その他の資産		
敷金及び保証金	275,996	314,015
その他	170,556	165,154
貸倒引当金	—	△4,921
投資その他の資産合計	446,552	474,248
固定資産合計	715,961	813,169
繰延資産	125	93
資産合計	2,728,486	2,568,038
負債の部		
流動負債		
買掛金	192,252	183,007
短期借入金	600,000	750,000
未払法人税等	26,954	12,454
賞与引当金	21,000	21,000
ポイント引当金	16,777	20,881
その他	182,344	197,368
流動負債合計	1,039,329	1,184,711
固定負債		
退職給付に係る負債	166,918	169,024
資産除去債務	115,870	134,165
その他	43,409	54,915
固定負債合計	326,197	358,105
負債合計	1,365,526	1,542,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	407,339	414,807
資本剰余金	718,049	725,518
利益剰余金	432,877	80,119
自己株式	△195,430	△195,430
株主資本合計	1,362,835	1,025,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	177
その他の包括利益累計額合計	94	177
新株予約権	29	29
純資産合計	1,362,959	1,025,221
負債純資産合計	2,728,486	2,568,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
売上高	2,950,201	2,632,934
売上原価	1,281,452	1,180,585
売上総利益	1,668,749	1,452,349
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	422,612	426,575
賞与引当金繰入額	28,000	21,000
退職給付費用	9,433	8,310
業務委託費	400,509	335,124
地代家賃	311,841	319,977
貸倒引当金繰入額	△1,401	2,342
その他	685,730	618,262
販売費及び一般管理費合計	1,856,726	1,731,591
営業損失(△)	△187,977	△279,242
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	33	33
受取補償金	19	—
還付加算金	241	—
物品売却益	338	—
助成金収入	—	8,727
その他	754	724
営業外収益合計	1,395	9,490
営業外費用		
支払利息	1,081	1,320
為替差損	3,863	652
その他	549	614
営業外費用合計	5,494	2,587
経常損失(△)	△192,076	△272,339
特別損失		
減損損失	53,573	4,822
特別損失合計	53,573	4,822
税金等調整前四半期純損失(△)	△245,649	△277,161
法人税、住民税及び事業税	3,578	3,958
法人税等調整額	56,904	58,191
法人税等合計	60,483	62,149
四半期純損失(△)	△306,133	△339,310
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△306,133	△339,310

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
四半期純損失(△)	△306,133	△339,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	82
その他の包括利益合計	△17	82
四半期包括利益	△306,150	△339,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306,150	△339,228

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△245,649	△277,161
減価償却費	31,834	26,064
減損損失	53,573	4,822
長期前払費用償却額	1,985	1,599
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,573	2,106
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,401	2,342
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	12,195	4,104
受取利息及び受取配当金	△40	△37
支払利息	1,081	1,320
助成金収入	—	△8,727
為替差損益 (△は益)	△27	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	199,115	99,756
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,249	63,624
前払費用の増減額 (△は増加)	1,239	△10,542
未収消費税等の増減額 (△は増加)	26,026	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65,487	△9,245
未払金の増減額 (△は減少)	△37,744	△5,505
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,929	4,328
未払消費税等の増減額 (△は減少)	7,974	△5,536
預り金の増減額 (△は減少)	△2,356	9,626
その他	10,216	△14,402
小計	△66,069	△111,472
利息及び配当金の受取額	40	37
利息の支払額	△1,033	△1,423
助成金の受取額	—	53,672
補償金の受取額	19	—
法人税等の支払額	△186	△7,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67,229	△66,476
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△57,689	△59,822
有形固定資産の除却による支出	△9,989	—
無形固定資産の取得による支出	△20,404	△11,270
敷金及び保証金の差入による支出	△9,000	△41,018
敷金及び保証金の回収による収入	14,021	—
長期前払費用の取得による支出	△2,248	△2,579
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,311	△144,692

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	150,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,873	14,937
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,977	△5,126
自己株式の取得による支出	△91	—
配当金の支払額	△25,124	△13,054
その他	△1	△2,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,677	144,390
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△120,837	△66,772
現金及び現金同等物の期首残高	897,577	858,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	776,740	791,946

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,602,771	1,262,760	62,468	2,928,000	22,201	—	2,950,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,602,771	1,262,760	62,468	2,928,000	22,201	—	2,950,201
セグメント利益又は損失(△)	△18,174	△2,038	△9,334	△29,547	5,843	△164,274	△187,977

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用164,274千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
減損損失	43,500	3,105	—	46,606	—	6,966	53,573

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。
2. 「調整額」の金額は、各報告セグメントに帰属しない全社資産です。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,331,318	1,203,982	78,112	2,613,413	19,521	—	2,632,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,331,318	1,203,982	78,112	2,613,413	19,521	—	2,632,934
セグメント利益又は損失(△)	△77,965	△52,492	△8,092	△138,549	2,432	△143,125	△279,242

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用143,125千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。